

平成 19 年度新農薬実用化試験で注目された 病虫害防除薬剤

(社)日本植物防疫協会調査企画部 ^{はやし}林 ^{なおと}直人・^{あらい}新井 ^{ますみ}真澄

はじめに

平成 19 年度の新農薬実用化試験については、10 月 18 日の茶試験成績検討会を皮切りに、稲・野菜関係地域成績検討会並びに総合判定会議、果樹等試験成績検討会、生物農薬試験検討会等順次開催され、依頼された薬剤の各種病虫害に対する効果や薬害、使用方法の検討が行われた。

ここでは、平成 19 年度に依頼された試験の中で、注目された薬剤並びにその傾向について紹介する。

I 新農薬実用化試験の動向

〔殺菌剤〕

本年度依頼された試験薬剤は 251 剤であった（生物農薬を含む）。これら薬剤についてそれぞれ複数の作物、病害に対して延べ 2,273 件の試験が公的試験研究機関などで実施された。殺菌剤の成分が新規化合物単剤もしくは新規化合物同士の混合剤である製剤は 40 剤（15.9%）、新規化合物と既知化合物の混合剤は 17 剤（6.8%）であり、例年と同じ傾向であった（図-1）。試験件数を見ても全体としては大きな変動は見られなかったが、対象作物別には稲・野菜の分野で新規化合物が多く試験数は増加した。

稲・麦の関係では、昨年に引き続き薬剤数、試験件数ともに多い傾向にある。これは、殺菌成分のイソチアニルを中心とする新規混合製剤が多く試験されたことによる影響が大きい。昨年、これらの製剤は主にいもち病を対象として試験されたが、今年度は白葉枯病やもみ枯細菌病などに試験が集中した。また、麦類、特に雪腐病を対象とした試験が多かった。

野菜関係においても件数は増加した。これは、昨年度より委託された新規化合物のほか、本年度も新たな新規化合物が登場し、多くの作物・病害を対象に試験されたためと思われる。

果樹関係では、落葉果樹の分野で試験数が増加し、寒

冷地果樹分野では件数が多かった昨年よりも減少し、ほぼ平年並みとなった。常緑果樹では、ストレプトマイシン剤のかいよう病に対する登録失効の影響を受けたこともあって、件数の 3 分の 1 がかいよう病の試験となった。茶の関係では薬剤数、試験数ともに半減し、主要病害である炭疽病についても 1 薬剤が試験されたのみであった。芝草の試験数は若干増加した。本年度より初めてネクロティックリングスポット病の試験も開始された。

生物農薬では、16 剤、89 件が試験実施された。稲の種子消毒を対象とした試験は一段落し、代わって野菜の病害などを対象とした新規製剤が多く登場した。それらの中には土壌処理剤が 3 薬剤含まれ、例年の傾向とはやや異なり、対象作物、対象病害、処理方法等がバラエティに富んでいた。

〔殺虫剤〕

本年度依頼された薬剤数は 259 剤で、それぞれ複数の作物・害虫に対して延べ 2,963 件の試験が実施された。新規成分の単剤は 29 剤、新規成分と既知成分の混合剤は 10 剤であった（図-2）。

試験分野別に見ると、稲・麦関係では、ここ数年新規殺菌剤との混合箱粒剤が多数試験依頼されている。その関係で、ややマイナーな害虫も含めて満遍なく試験があった。

野菜関係は、豆類、特にあずきの試験が多数試験されたのが目立った。また「野菜類」、「いも類」、「花き類」等グループ化を目指すと思われる試験も見受けられる。近年多くの作物でセル苗育苗が進んでいるが、定植直前

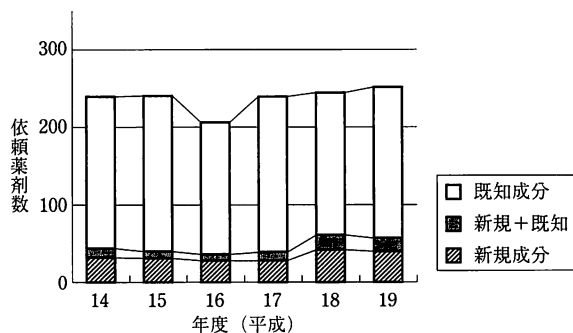


図-1 殺菌剤効果試験依頼薬剤数の推移

The Remarkd Pesticides for the Efficacy Study in Japan (2007).

By Naoto HAYASHI and Masumi ARAI

(キーワード: 殺虫剤, 殺菌剤, JPPA, 新農薬実用化試験, 平成 19 年度)

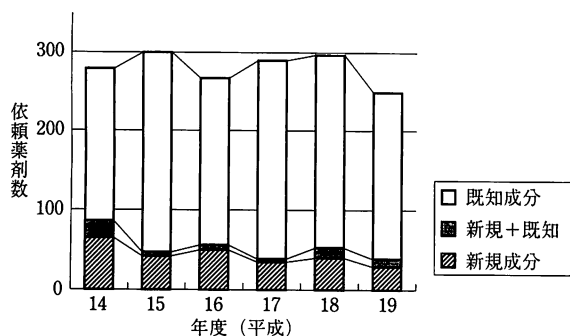


図-2 殺虫剤効果試験依頼薬剤数の推移

のセルトレイに散布剤を灌注することにより簡便かつ効率的に圃場に薬剤を持ち込む処理法の試験も活発に行われている。

果樹分野は、落葉果樹が多かったが寒冷地・常緑果樹の試験は少なかった。落葉果樹分野では、ここ数年多かったうめがやはり活発なのに加え、すもも・あんず等のマイナー作物の依頼も多かった。寒冷地果樹分野では、おうとうは相変わらず多くの試験が実施されたが、りんごはどの対象も試験依頼が少なめであった。常緑果樹分野では、サビダニ類の試験がここ数年非常に多いが、本年度はミカンハダニの依頼は全くなく一段落しているようである。

茶分野では、近年最多となった昨年度よりはやや少ないものの、多くの試験が実施された。特に、近年急に問題化したミカントゲコナジラミの試験が多かった。カンザワハダニに対する化学合成農薬の試験は一段落した感があるが、本年度は生物農薬が2剤試験された。

芝分野では、シバツトガ・スジキリヨトウ・コガネムシ類等の主要害虫に対する開発が一段落したようで、試験は少なかったが、現場の要望を反映してオオハサミムシ・ケラ・ミミズ等の試験が実施された。

生物農薬分野では、昨年度から試験された ALE-0651 (スワルスキーカブリダニ) と、本年度からの ALE-0751 (クロヒョウタンカスミカメ) の新規天敵製剤2種の試験が活発であった。

II 注目される新規化合物を含む薬剤 および新規生物製剤

〔殺菌剤〕

平成 19 年度、試験受託時に未登録の新規化合物を含む薬剤（生物農薬を含む）は、単剤 40 剤、混合剤 17 剤の合計 57 剤であった。また、本年度初めて依頼された成分を含む剤は 9 薬剤であった（表-1、3）。

表-1 平成 19 年度に初めて依頼のあった新規化合物（病害防除）

薬剤コード・成分	依頼作物・病害	備考
AFH-0001 顆粒水和剤 10.0%	だいず：紫斑病、ねぎ：さび病	
ALF-0711 顆粒水和剤 7.0%	トマト・いちご：灰色かび病、はくさい・ねぎ：べと病、いちご：炭疽病、かんきつ：灰色かび病・黒点病・そうか病	既知化合物との混合剤
BCF-061 フロアブル 500 g/l	各種野菜：灰色かび病・菌核病・うどんこ病ほか、なし・もも・うめ・りんご：黒星病など	延べ 39 の対象に試験実施
DKF-9610 顆粒水和剤 7.0%	小麦：赤かび病・雪腐病、なし：黒斑病・黒星病、りんご：斑点落葉病・輪紋病・炭疽病など	既知化合物との混合剤
KYF-6901 水和剤 35% + 40%	稲：ばか苗病、いもち病（種子消毒）	粉わさび＋粉末酢酸

表-2 平成 19 年度に初めて依頼のあった新規化合物（虫害防除）

薬剤コード・成分	作物・病害虫	備考
BCI-071 フロアブル 新規化合物 22.4%	野菜類 アブラムシ類・コナジラミ類・アザミウマ類・ダニ類	遅効的だが残効にすぐれる 成虫に対する効果は劣る
MBCI-071 フロアブル 新規化合物 18.4%	芝 スジキリヨトウ・シバツトガ	遅効的に摂食阻害効果を発現する

AFH-0001 顆粒水和剤（明治製菓）は、だいず紫斑病、ねぎさび病について試験された。本剤の成分は過去に稲いもち病を対象に粉剤として試験実施されている。ALF-0711 顆粒水和剤（アリスタ ライフサイエンス）は、既知化合物との混合剤で新規化合物についての詳細は不明である。トマト、はくさい、たまねぎ、ねぎ、およびかんきつの各種病害を試験対象としている。BCF-061 フロアブル（バイエル クロップサイエンス）は野菜類の灰色かび病、菌核病など幅広い対象に試験されたほか、果樹類についてもおおむね高い効果を示している。DKF-9610 顆粒水和剤（デュボン）も既知化合物との混合剤であり、本剤も作物病害共に対象範囲が広い。KYF-6901 水和剤（協友アグリ）は稲の種子消毒剤で、現時点では薬害の懸念があるため、今後も製剤、処理濃度等の変更を含めた検討がされるものと思われる。

生物農薬の分野では、4 薬剤が新たに依頼された。AKD-5173 粒剤（アグロカネショウ）、IK-806（出光興産）、ソウカムテキ（日鉄環境エンジニアリング）は土壌病害に対して試験された。高く安定した防除効果を得るのは難しい対象であるため、処理方法などを含め改良を加えつつ試験例数が重ねられることになると思われる。

KUF-1901 顆粒水和剤（クミアイ化学工業）は、化学農薬と組み合わせることにより、表面上の微生物を殺菌した上で *Bacillus subtilis* を定着しやすくする、という効果が期待される。

〔殺虫剤〕

平成 19 年度に試験された、依頼申請時に未登録の新規物を含む薬剤は 39 剤で、単剤は 29 剤、混合剤は 10 剤であった。これらのうち本年度初めて依頼のあった成分は 4 剤であった（表-2, 3）。

本年度初めて依頼のあった薬剤のうち、BCI-071 フロアブル（バイエル クロップサイエンス）は、遅効的であるがアブラムシ類・アザミウマ類・コナジラミ類・ハダニ類といった広範な害虫種に効果が得られる新規化合物製剤で、野菜類で試験が実施され効果が認められていた。今後の開発が大いに期待される。MBCI-071 フロアブル（デュボン・丸和バイオケミカル）は、遅効的に摂食阻害作用を示す新規化合物で芝のスジキリヨトウ・シバツトガに試験実施され、すべて高い効果が得られていた。

昨年度から試験中の、S-1947SC・WDG（住友化学：スピネトラム）・IKR-001 乳剤（グリセリン酢酸脂肪酸エステル：石原産業）・AKD-1162 乳剤（アザディラクチン：アグロ・カネショウ）は試験を重ね、本年初めて実用性ありの判定を受けた。また未登録単剤としては、CJI601 顆粒水和剤（セルティスジャパン）、SYJ-159 乳剤（シンジェンタジャパン）、アニキ乳剤（三共アグロ）、アクセルフフロアブル（日本農薬）、コルト顆粒水和剤（日本農薬）、スターマイトフロアブル（日産化学）、ネマキック粒剤（アグロ・カネショウ）、TB0301 顆粒水和剤（大塚化学）などが昨年に引き続き実用性ありの品目を増やしている。化学合成農薬も種類が増えているが、アザディラクチンや食品添加物を有効成分とする薬剤も増加しておりバラエティに富んできている。

新規生物農薬のうち、ALE-0751（アリスタ ライフサイエンス）は、関東以南の日本国内に分布する在来種で、アザミウマ類・コナジラミ類等を捕食するクロヒョウタンカスミカメを製剤化したもの、ALE-0752（アリスタ ライフサイエンス）は、古くからクワシロカイガラシの重要な天敵として知られていたハレヤヒメテン

表-3 平成 19 年度に初めて依頼のあった生物農薬

薬剤名	成分名	対象病害虫名
(病害防除)		
AKD-5173 粒剤	糸状菌胞子 1×10^6 cfu/g	トマト・ほうれんそう：萎凋病
IK-806	糸状菌	メロン：つる割病、はくさい：根こぶ病、レタス：根腐病
KUF-1901 顆粒水和剤	<i>Bacillus subtilis</i> 2×10^{10} cfu/g, 水酸化第二銅 50.0%	トマト：葉かび病
ソウカムテキ	<i>Trichoderma asperellum</i> strain F-288	ばれいしょ：そうか病
(虫害防除)		
ALE-0752	ハレヤヒメテントウ (<i>Pseudoscymnus hareja</i>)	茶：クワコナカイガラシ
ALE-0751	クロヒョウタンカスミカメ (<i>Pilophorus typicus</i>)	果菜類：コナジラミ類

トウを製剤化したものである。近年、大学も関係して土着の天敵昆虫を製剤とした開発が活発化しており、さらなる開発が期待される。

III その他注目された事項

当協会では、農薬登録に必要な基本的な防除効果薬害試験を実施しているが、資材によっては普及場面での使用方法や体系防除における位置づけをより明確にする必要がある場合や、防除効果や薬害についても使用方法や処理時期などによっては集中的に検討する必要があると考えられる農業資材などに対して、特別連絡試験を行っている。

今年度は殺菌剤関係で 2 課題、殺虫剤関係で 2 課題、複合的な課題で 2 課題が組まれたことから以下に一部を紹介する。

(1) エコショットのなしの病害防除に関する特別連絡試験（クミアイ化学工業(株)）

エコショットは細菌バチルス ズブチリスの生芽胞からなる微生物農薬であり、本剤は果樹病害ではぶどうおよびかんきつの灰色かび病に対して 1,000 倍液散布が平成 17 年に、またなしの黒星病に対して 2,000 倍液散布が平成 19 年 7 月に登録された。

本連絡試験ではなしの黒星病を対象に、現在実施されている防除体系に本剤の導入が可能かどうか検討された。その結果、開花期前後に DMI 剤を散布した後の黒

星病菌の密度が比較的低いと考えられる時期においては、エコショットの散布は実用的な防除効果を示し、通常の慣行防除体系で使用される殺菌剤に換えて使用できる可能性が示唆された。なしの黒星病に登録された生物農薬の成分としてはパチルス ズブチリスが初めてであったこともあって、関心も高く全国 12 の試験場が本連絡試験に参加した。今後、本剤の防除効果の安定性を確実にするための諸条件の検討が行われる予定である。

(2) タフブロックの水稻種子消毒に関する特別連絡試験（出光興産(株)）

本剤は糸状菌タロマイセス フラバスを成分とする微生物農薬製剤であり、稲の種子消毒剤として、平成 19 年 9 月（一部は 3 月）にばか苗病、いもち病、もみ枯細菌病、苗立枯細菌病に対して 200 倍催芽時 24 時間浸漬処理、200 倍催芽前 24～48 時間浸漬処理、20 倍浸種前 1 時間浸漬処理および 4% 浸種前湿粉衣処理が、褐条病に対して 200 倍催芽時 24 時間浸漬処理が登録された。

本試験では技術確立に関する試験として温湯浸漬処理との併用、出芽時の加温の有無が防除効果に及ぼす影響等をばか苗病等を中心に検証したほか、育苗時の糸状菌病害への適用拡大試験なども実施した。その結果、通常の育苗期においては無加温出芽と加温出芽による防除効果の差は認められなかった。また本剤処理と温湯処理との併用は安定した高い防除効果を示すことなど、普及に際していろいろな条件で使用された場合でも本剤は安定した効果が得られる可能性などが示唆された。本試験には全国 15 の試験場などが参加した。

(3) タバココナジラミ類防除特別連絡試験

近年、タバココナジラミ バイオタイプ Q が西日本から急速に分布を拡げ現在岩手県まで北上し、防除対策が喫緊の課題となっていることから、その防除薬剤の早期登録を目指して昨年度より主要作物のタバココナジラミ類について緊急対策事業として標記連絡試験を実施してきた。12 月 20 日には 12 県 16 試験場の試験担当者、関係各県および農薬メーカーの担当者など 100 名以上が参集して検討会を開催した。

野菜のコナジラミ類は、オンシツコナジラミ・タバココナジラミ バイオタイプ B（シルバーリーフコナジラミ）・タバココナジラミ バイオタイプ Q と段階的に海外より侵入したため農薬登録の対象害虫名が複雑になっていたが、農水省は昨年度よりバイオタイプ B と Q を括って「タバココナジラミ類」という害虫名を登録新たに使用し、さらに少なくともオンシツコナジラミとバイオタイプ B に効果が得られるものは「コナジラミ類」に統一する方向で整理を進め、広く使えるように拡大す

る方針としている。ただしこの場合「コナジラミ類」として登録はあるものの、バイオタイプ Q に効果が得られない場合があるので防除指導の際には感受性の確認が必要となる。

検討会では 17 薬剤を 6 作物延べ 62 件の試験が集中的に検討され、薬剤と作物の組み合わせで 12 の対象について実用性ありと判定された（表-15）。また、マイナー作物・オンシツコナジラミの試験成績と併せて、コナジラミ類と判定するような対象や生物農薬は他の検討会で検討され、そちらのほうでも 10 作物で 19 の対象について実用性ありと判定された。

表-4 最近名称変更のあった主な薬剤

旧薬剤名	変更後名称	成分名・量
(病害防除)		
IK-200 乳剤	タフパール	タロマイセス フラバス 5×10^8 cfu/g 以上
KUF-1204 顆粒水和剤	ファンタジスタ顆粒水和剤	ビリベンカルブ 40.0%
BCF-051 粒剤	ルーチン粒剤	イソチアニル 3.0%
SYJ-446SC	レーバスフロアブル	マンジプロバミド 23.3%
KNF-45 フロアブル	芝美人フロアブル	メトコナゾール 20.0%
(虫害防除)		
SYJ-170 顆粒水和剤	アフファームエクセラ顆粒水和剤	エマメクチン安息香酸塩 0.7% ルフエヌロン 2.5%
BCI-041 水和剤	クリアオール水和剤	アクリナトリン 6% スピロメシフェン 30%
NC-512 フロアブル	スターマイトフロアブル	シエノピラフェン（ISO 申請中）30%
BAI-035 ベイト	プリンスベイト	フィプロニル 0.5%
BCI-033 フロアブル	ダニゲッターフロアブル	スピロメシフェン 30%
NC-513 フロアブル サンマイト Z フロアブル	バリュースターフロアブル	シエノピラフェン（ISO 申請中）30% ビリダベン 15%
DKI-0309 フロアブル	風神フロアブル	インドキサカルブ MP 10%

(4) コンフューザー V 特別連絡試験 (信越化学工業(株))

本剤は数種の性フェロモンを混合し、コナガ・オオタバコガをはじめ、畑作野菜で問題となる各種チョウ目害虫を一度に交信かく乱・防除する資材として、平成 16 年に登録を取得し、平成 18 年 10 月 18 日付けでも類・豆類(種実)にも適用拡大され、各地で普及が図られている。本年の試験では、有効成分ウワバラルアを増強させた改良剤の効果検討、現行コンフューザー V の花き類での効果確認、並びにコナガコンープラスのヨトウムシへの適用拡大に向けた効果検討と多岐にわたる試験が実施された。

(5) エコピタ液剤特別連絡試験 (協友アグリ(株))

エコピタ液剤は、協友アグリが開発し平成 17 年に新規登録された還元澱粉糖化物を有効成分とする農薬で、人畜・有用生物に対する高い安全性が特徴である。本特別連絡試験では、ハダニ類・アブラムシ類・うどんこ病に対して天敵製剤の導入も視野に入れ、どういう場面で活用できるかを多角的に検討した。

(6) 水稲用微粒剤 F 特別連絡試験

微粒剤 F はかつて DL 粉剤と同時期に開発登録され、やがてその多くが失効したが、ポジティブリスト制の施行後、よりドリフトの少ない剤型が求められていることから、平成 18 年度より日植防・全農・農業会社・散布機具会社等の協力の下再開発に取り組んだ。今回 8 薬剤について圃場での試験を実施したが、おおむね十分な効果が認められ、またドリフトも DL 粉剤に比較して抑えられていることが確認された。今後のさらなる開発が望まれる。

IV 最近名称に変更があった薬剤

多くの薬剤は初めて委託に出されるときにはコード番号などを薬剤名として使用しているが、登録に伴って商品名が命名される。また、商品名がつけられる前に何らかの事情で名称変更されることもあり、過去の試験と比較するとき、戸惑うこともある。そこで、最近名称に変更があった薬剤の一覧表を作成した(表-4)。比較検討時の参考になれば幸甚である。

表-5 平成 19 年度総合判定で実用性ありと判断された薬剤 (病害防除：稲・麦)

作物名	病虫害名	薬剤名	作物名	病虫害名	薬剤名
稲	いもち病	AF-0202 粉剤 DL, AF-0203 粉剤 DL, BCM-062 粒剤, DMH-2475 粒剤, HM-2065DF, M-2026 粒剤, MBS-1013 粒剤, MTI-6501 箱粒剤, MTI-6502 箱粒剤, SYJ-198 箱粒剤, TM-0348 顆粒水和剤, オリガミフロアブル, ビームエイトゾル, ビルダープリンススタークル粒剤, ブイゲットバリアード粒剤, ブイゲットプリンスリンバー L 粒剤, プラストップフロアブル, プリンスオリゼメート嵐 5 粒剤, ルーチンアドマイヤー箱粒剤, ルーチンダントツ箱粒剤, ルーチンダントツ箱粒剤 08, ルーチン粒剤, ワイドナーエース粉剤 DL	稲	紋枯病	HM-2065DF, HM-2067 粒剤, MTF-753 フロアブル, MTI-6502 箱粒剤, アブロードバダンモンカット粒剤, イモチエースキラップ粒剤, イモチエーススタークル粒剤, ブイゲットプリンスリンバー L 粒剤, モンカットフロアブル 40, ワイドナーエース粉剤 DL, 嵐キラップ粒剤
	稲こうじ病	モンガリット 1 キロ粒剤, ラテラワイド粉剤 DL		穂枯れ (ごま葉枯病菌)	イモチエース 1 キロ粒剤 10, イモチエーススタークル粒剤, ハスラー H 粉剤 DL
				変色米 (アルタナリア菌)	AF-0201 粉剤 DL
				変色米 (カーブラリア菌)	ラテラワイド粉剤 DL
				もみ枯細菌病	Dr.オリゼダントツ箱粒剤, MN-06 粒剤, ビルダープリンスグレートム粒剤, ブイゲットアドマイヤーリンバー粒剤, ブイゲットバリアード粒剤, ブイゲットプリンスバリアード L 粒剤, ブイゲット箱粒剤

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
稲	白葉枯病	Dr.オリゼアドマイヤー箱粒剤, Dr.オリゼダントツ箱粒剤, MN-06 粒剤, アブライプリンス粒剤 10, アブライプリンス粒剤 6, ビルダープリンスグレートム粒剤, ビルダープリンススタークル粒剤, ブイゲットアドマイヤースピノ箱粒剤, ブイゲットアドマイヤーリンバー粒剤, ブイゲットバリアード粒剤, ブイゲットプリンスバリアード L 粒剤, ブイゲットプリンス粒剤 6, ブイゲット箱粒剤, ルーチンアドマイヤー箱粒剤, ルーチン粒剤	稲	いもち病（種子消毒）	HOF-2063 水和剤, TKS-1
				ごま葉枯病（種子消毒）	HOF-2063 水和剤
				ばか苗病（種子消毒）	HOF-2063 水和剤, TKS-1
	苗立枯病（フザリウム菌）	SF-0702 粉剤, SF-0703 液剤, SH-0602 液剤	小麦	赤かび病	トップジン M 水和剤, ファンタジスタ顆粒水和剤, ワークアップ乳剤, ベフトップジンフロアブル
	苗立枯病（ビシウム菌）	SF-0702 粉剤, SF-0703 液剤, SH-0602 液剤		赤さび病	KNF-6001 乳剤
	褐条病	KIF-24, KIF-25, TKS-1, シードラック水和剤		紅色雪腐病	ALF-0611 顆粒水和剤, ベフトップジンフロアブル
もみ枯細菌病（種子消毒）	CGC2009 水和剤, HOF-2063 水和剤, KIF-24, KIF-25, シードラック水和剤			雪腐小粒菌核病	ALF-0611 顆粒水和剤, バシタックペフランゾル
	苗立枯細菌病（種子消毒）	CGC2009 水和剤, HOF-2063 水和剤, KIF-24, KIF-25, シードラック水和剤		雪腐大粒菌核病	トップジン M 水和剤, バシタックペフランゾル
				うどんこ病	ベフトップジンフロアブル, KNF-6001 乳剤

平成 19 年度は 94 薬剤 477 試験が実施され、101 課題について実用性ありと判定された。昨年より試験が開始された新規化合物が多く、薬剤数、試験数共に昨年度より大幅に増加した。いもち病ではイソチアニル（コード名：BCF-051, 商品名：ルーチン）と殺虫成分の混合剤が目立つ。白葉枯病は実施しにくい病害ではあるが、試験機関のご協力が得られ、多くの試験が実施された。種子消毒では銀を有効成分とする HOF-2063 水和剤, KIF-24, KIF-25 が各病害に実用性ありとなった。

表-6 平成 19 年度総合判定で実用性ありと判断された薬剤（病害防除：野菜・花き）

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
ばれいしょ	疫病	BAF-0506 フロアブル, NF-161 ドライフロアブル, NF-162 顆粒水和剤, NF-163 顆粒水和剤	あずき	灰色かび病	フロンサイド SC
				炭疽病	フロンサイド SC
	黒あし病	アグレプト液剤	えんどう	灰色かび病	BCF-061 フロアブル
	黒あざ病	アミスター 20 フロアブル		うどんこ病	BCF-061 フロアブル
	夏疫病	アミスター 20 フロアブル, プリザード水和剤, プロポーズ顆粒水和剤	そらまめ	さび病	アミスター 20 フロアブル
だいず	斑点細菌病	フェスティバル C 水和剤	てんさい	葉腐病	デビュー乳剤, フリントフロアブル 25
	茎疫病	NF-163 顆粒水和剤, レーバスフロアブル		褐斑病	シグナム WG, フリントフロアブル 25
	紫斑病	スコア顆粒水和剤, ファンタジスタ顆粒水和剤		黒根病	NC-224 顆粒水和剤, フロンサイド SC

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
てんさい	根腐病	フロンサイド SC	メロン	黒点根腐病	TMZ-9911 液剤
こんにゃく	葉枯病	DKF-0113 ドライフロアブル		うどんこ病	シグナム WG
	根腐病	SYJ-184 粒剤	すいか	CGMMV	レンテミン液剤
なす	青枯病	ダブルストッパー		褐色腐敗病	SYJ-169WG
	灰色かび病	KUF-1801 顆粒水和剤, S-2188 50DF		菌核病	MTF-753 フロアブル
	褐色腐敗病	レーバスフロアブル		炭疽病	シグナム WG
	菌核病	S-2188 50DF, ブロードワン顆粒水和剤		つる枯病	シグナム WG
	すすかび病	KUF-1801 顆粒水和剤, シグナム WG, プロボーズ顆粒水和剤, ポリオキシ AL 水溶剤		うどんこ病	アミスターオブティフロアブル, シグナム WG, スコア顆粒水和剤, ハチハチ乳剤
	うどんこ病	ポリオキシ AL 水溶剤	かぼちゃ	べと病	SYJ-169WG
トマト	青枯病	TMZ-9911 液剤		疫病	SYJ-169WG
	疫病	BAF-0506 フロアブル, DKF-0113 ドライフロアブル	にがうり	うどんこ病	アミスターオブティフロアブル
	灰色かび病	KUF-1801 顆粒水和剤, S-2188 50DF	だいこん	軟腐病	カスミンバリダシン液剤
	葉かび病	KUF-1801 顆粒水和剤, シグナム WG, ファンタジスタ顆粒水和剤, プロボーズ顆粒水和剤		白さび病	ライメイフロアブル
	菌核病	ブロードワン顆粒水和剤		ワッカ症	アミスター 20 フロアブル
	すすかび病	サルバトーレ ME, ダイアメリット DF, トリフミン水和剤, ベルクートフロアブル	はくさい	べと病	SCF-005SC
	うどんこ病	ダイアメリット DF		白斑病	ベンレート水和剤
ピーマン	疫病	ライメイフロアブル		ピシウム腐敗病	SYJ-169WG, フォリオゴールドフロアブル
	黒枯病	アミスターオブティフロアブル	キャベツ	軟腐病	DKF-0113 ドライフロアブル
きゅうり	べと病	BAF-0506 フロアブル, ハチハチ乳剤		べと病	ライメイフロアブル
	灰色かび病	S-2188 50DF, ブロードワン顆粒水和剤		株腐病	アミスター 20 フロアブル
	褐斑病	BAF-0505 フロアブル, MTF-753 フロアブル, フルピカフロアブル		菌核病	ファンタジスタ顆粒水和剤
	菌核病	S-2188 50DF, ブロードワン顆粒水和剤		ピシウム腐敗病	フォリオゴールドフロアブル
	炭疽病	シグナム WG		苗立枯病 (リゾクトニア菌)	クロルピクリン錠剤
	うどんこ病	BAF-045 フロアブル, BAF-0505 フロアブル, KUF-1801 顆粒水和剤		根こぶ病	NC-224 粉剤
メロン	CGMMV	レンテミン液剤	カリフラワー	根こぶ病	ランマンフロアブル
			ブロッコリー	べと病	SYJ-169WG
				根こぶ病	NC-224 粉剤
			たかな	白さび病	ライメイフロアブル
			なばな	白さび病	ランマンフロアブル
			いちご	疫病	NC-224 顆粒水和剤
				灰色かび病	KUF-1801 顆粒水和剤, S-2188 50DF
				炭疽病	ファンタジスタ顆粒水和剤

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
いちご	うどんこ病	BAF-0505 フロアブル, KUF-1801 顆粒水和剤, アミスタートップフロアブル	にんじん	黒葉枯病	ファンタジスタ顆粒水和剤
				うどんこ病	ヨネボン水和剤
ねぎ	葉枯病	アミスター 20 フロアブル, テーク水和剤	セルリー	軟腐病	ヨネボン水和剤
	黒斑病	ダイアメリット DF		斑点病	ヨネボン水和剤
	黄斑病	アミスターオブティフロアブル	ほうれんそう	べと病	レーバスフロアブル
	さび病	MTF-753 フロアブル	しょうが	根茎腐敗病	TMZ-9911 液剤
	白絹病	モンカット粒剤	みょうが	根茎腐敗病	TMZ-9911 液剤
たまねぎ	べと病	NF-163 顆粒水和剤, レーバスフロアブル	きく	萎凋病	TMZ-9911 液剤
	灰色かび病（白斑葉枯病）	フロンサイド SC, ポリオキシシ AL 水和剤		白さび病	ハチハチ乳剤
	黒腐菌核病	キルバー液剤	カーネーション	萎凋細菌病	TMZ-9911 液剤
アスパラガス	茎枯病	DKF-0113 ドライフロアブル, MTF-753 フロアブル, ドキリンフロアブル		萎凋病	クロルピクリン錠剤
			りんどう	褐斑病	チオノックフロアブル
にんじん	斑点病	BCF-061 フロアブル, カンタストライフロアブル, ヨネボン水和剤	ガーベラ	うどんこ病	サンクリスタル乳剤
			ほおずき	うどんこ病	サンクリスタル乳剤

平成 19 年度依頼された薬剤数は 101 剤、試験数は前年より 60 件以上多い 1,008 件であった。未了試験を含む総検討課題数 497 のうち 143 の対象について実用性ありと判定された。BCF-061 は新規化合物、S-2188 は新規化合物、KUF-1801 はピリベンカルブと既知化合物の混合剤、DKF-0113 は水酸化第二銅が有効成分である。登録薬剤がなく、各地域で発生が問題視されていたトマトすすかび病に対して 4 薬剤が初めて実用性ありと判定された。

表-7 平成 19 年度総合判定で実用性ありと判断された薬剤（病害防除：果樹・茶・芝草）

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
なし	赤星病	オンリーワンフロアブル	もも	黒星病	ファンタジスタ顆粒水和剤
	黒斑病	BAF-0505 フロアブル, スコア MZ 水和剤, ファンタジスタ顆粒水和剤		ホモブシス腐敗病	ファンタジスタ顆粒水和剤
	黒星病	BAF-045 フロアブル, BAF-0505 フロアブル, MTF-753 フロアブル		傷口の癒合促進	バッチレート
	心腐れ症（胴枯病菌）	ベンレート水和剤	すもも	灰星病	インプレッション水和剤, ナリア WDG
	炭疽病	チオノックフロアブル, ナリア WDG		黒斑病	Z ボルドー
もも	せん孔細菌病	NF-161 ドライフロアブル, チオノックフロアブル		白紋羽病	フロンサイド SC
	灰星病	BAF-045 フロアブル, BAF-0505 フロアブル, サルバトーレ ME	あんず	灰星病	MTF-753 フロアブル, ベルケートフロアブル
			うめ	黒星病	オンリーワンフロアブル, サルバトーレ ME, ナリア WDG
				すす斑症	ベンレート水和剤
				傷口の癒合促進	バッチレート

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
ぶどう	べと病	BAF-0506 フロアブル, NF-161 ドライフロアブル	かんきつ	かいよう病	DKF-0113 ドライフロアブル
	黒とう病	BAF-0505 フロアブル, DAF-0601 水和剤, NF-165SC (休眠期)		灰色かび病	ナリア WDG
	晩腐病	ファンタジスタ顆粒水和剤, ヨネボン (休眠期)		褐色腐敗病	ライメイフロアブル
かき	灰色かび病	ファンタジスタ顆粒水和剤, フルピカフロアブル		黒点病	ナリア WDG, ファンタジスタ顆粒水和剤
	落葉病	ファンタジスタ顆粒水和剤	茶	そうか病	ナリア WDG
	すす点病	ストライド顆粒水和剤		網もち病	NNF-0620 フロアブル, ストライド顆粒水和剤
	炭疽病	ストライド顆粒水和剤		褐色円星病	アミスタートップフロアブル
	うどんこ病	サルバトール ME, フルピカフロアブル, ベルクートフロアブル		黒葉腐病	ダコニール顆粒水和剤
りんご	斑点落葉病	MBF-051, ファンタジスタ顆粒水和剤	芝	赤焼病	NF-155 フロアブル
	褐斑病	BCF-062 水和剤, ファンタジスタ顆粒水和剤		炭疽病	DKF-0113 ドライフロアブル
	黒点病	ファンタジスタ顆粒水和剤, ベルクートフロアブル		細菌病 (かさ枯病)	DKF-054 水和剤, ドウグリン水和剤
	黒星病	BCF-062 水和剤, パスポート顆粒水和剤		ダラースポット病	DAF-0703 水和剤, クルセイダーフロアブル, パッチバスター, ブロード水和剤
	モニリア病	ファンタジスタ顆粒水和剤		フェアリーリング病	NF-160 顆粒水和剤
	輪紋病	チオノックフロアブル, パスポート顆粒水和剤, ファンタジスタ顆粒水和剤		疑似葉腐病 (春はげ症)	MTF-753 顆粒水和剤
	すす点病・すす斑病	BCF-062 水和剤, インダーフロアブル		カーブラリア葉枯病	ブロード水和剤
	炭疽病	BCF-062 水和剤, IC ボルドー 412・水和剤, パスポート顆粒水和剤		葉腐病 (ブラウンパッチ)	GG-260MC 剤, NFK-071 顆粒水和剤, ペンコシャイン水和剤
	うどんこ病	DAF-0601 水和剤		葉腐病 (ラージパッチ)	GG-260MC 剤, NFK-071 顆粒水和剤, クルセイダーフロアブル
				紅色雪腐病	芝美人フロアブル
おうとう	灰星病	BAF-045 フロアブル, BCF-061 フロアブル, MTF-753 フロアブル		雪腐小粒菌核病	MTF-753 顆粒水和剤, 芝美人フロアブル
	褐色せん孔病	ベンレート水和剤		赤焼病	GG-260MC 剤
	幼菌核病	ナリア WDG		ビシウム病	NC-224 顆粒水和剤, サブデューマックス液剤
				炭疽病	GG-260MC 剤
				立枯病 (ゾイシアデクライン)	パッチコロソ水和剤

平成 19 年度に依頼された試験は落葉果樹 41 薬剤 286 試験, 寒冷地果樹 25 薬剤 139 試験, 常緑果樹で 11 薬剤 61 試験であった。寒冷地果樹の試験は例年よりやや減少した。茶の分野では 6 薬剤 23 試験と昨年よりも減少し, 芝草の分野では 23 薬剤 147 試験であった。登録薬剤がなく, 数年前から問題となっていたかさ枯病 (細菌病) に対しては本年度初めて実用性ありと判定された。

表-8 平成 19 年度総合判定で実用性ありと判断された薬剤（病害防除：生物農薬）

作物名	病害虫名	薬剤名	有効成分	作物名	病害虫名	薬剤名	有効成分
稲	苗立枯病（リゾプス菌）	エコホープ DJ	トリコデルマ アトロビリデ	いちご	灰色かび病	NR-20 水和剤	バチルス ズブチリスの生芽胞
	いもち病（種子消毒）	KNB-S422 培土	糸状菌	ピーマン	うどんこ病	ボトキラー水和剤	バチルス ズブチリス芽胞
トマト	葉かび病	KUF-1901 水和剤	<i>Bacillus subtilis</i> , 水酸化第二銅	にら	白斑葉枯病	インプレッション水和剤	バチルス ズブチリス QST713 株
		OYK ファーミングブロック	バチルス ズブチリス類縁菌 OYK 菌	食用ゆり	葉枯病	インプレッション水和剤	バチルス ズブチリス QST713 株
		NR-20 水和剤	バチルス ズブチリスの生芽胞				

本年度初めて依頼があった 5 薬剤を含め、16 薬剤について 89 試験が実施された。トマト葉かび病の 3 薬剤はいずれもバチルス ズブチリスを有効成分とし、KUF-1901 水和剤は水酸化第二銅との混合剤である。

表-9 平成 19 年度総合判定で実用性ありと判断された薬剤（病害防除：家庭園芸）

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
トマト	葉かび病	GL-38（スプレー）	ばら	黒星病	ELCB-51AL 剤, GL-39（スプレー）
きゅうり	うどんこ病	GL-39（スプレー）		うどんこ病	ELCB-51AL 剤, GL-39（スプレー）
いちご	うどんこ病	YE-641AL			
きく	褐斑病・黒斑病	SYJ-181 スプレー	ペチュニア	うどんこ病	GL-39（スプレー）
			かなめもち	ごま色斑点病	花セラビー

9 薬剤 43 試験が実施された。本年度初めて実用性ありと判定された薬剤は ELCB-51AL 剤であるが、殺虫成分との混合剤であるが成分の詳細は不明である。

表-10 平成 19 年度総合判定で実用性ありと判断された薬剤（虫害防除：稲・麦）

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
稲	ウンカ類	AF-0202 粉剤 DL, AF-0203 粉剤 DL, AF-0205 粉剤 DL, BCI-074 粒剤, BCM-061 粒剤, BCM-062 粒剤, BCM-071 粒剤, HMC-06 粒剤, KUI-207 250G, ルーチングントツ箱粒剤 08（S-8079 箱粒剤 L）, SYJ-198 箱粒剤, アブロードパダンモンカット粒剤, オリゼメートアドマイヤー顆粒水和剤, ダントツリンバー粒剤, トレボンスター粉剤 DL, ノンプラスダントツフロアブル, バリダスタークル粉剤 DL, ビームモンカットスタークル F 粉剤 5DL, ビルダープリンススタークル粒剤, プリンスオリゼメート嵐 5 粒剤, HM-2067 粒剤, KUI-307 豆つぶ, MTI-6501 箱粒剤, MTI-6502 箱粒剤, MBS-1013 粒剤, AF-0206 粉剤 DL	稲	ツマグロヨコバイ	AF-0202 粉剤 DL, AF-0203 粉剤 DL, BCI-053 粒剤, BCI-074 粒剤, BCM-061 粒剤, BCM-062 粒剤, BCM-071 粒剤, HMC-06 粒剤, KUI-207 250G, トレボンスターフロアブル, トレボンスター粉剤 DL, バリダスタークル粉剤 DL, ビームアブロードスタークル粉剤 5DL, ビームモンカットスタークル F 粉剤 5DL, ビルダープリンススタークル粒剤, ブイゲットバリアード粒剤, ラブサイドダントツフロアブル, HM-2067 粒剤, KUI-307 豆つぶ
				カメムシ類	AF-0202 粉剤 DL, AF-0205 粉剤 DL, KUI-207 250G, トレボンスター粉剤 DL, ビームモンカットスタークル F 粉剤 5DL, ラブサイドダントツフロアブル, HM-2067 粒剤, KUI-307 豆つぶ, AF-0204 粉剤 DL

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
稲	イネクロカメムシ	プリンス粒剤	稲	フタオビコヤガ	BCM-062 粒剤, ルーチンダントツ箱粒剤 (S-8079 箱粒剤), カスラブスタークル粉剤 DL, ビルダースタークル箱粒剤, ワイドナーエース粉剤 DL, MTI-6501 箱粒剤, MTI-6502 箱粒剤
	イナゴ類	キラップフロアブル, キラップ粉剤 DL, ブラシダントツ粉剤 DL		イネドロオイムシ	BCM-061 粒剤, BCM-062 粒剤, BCM-072 粒剤, SYJ-198 箱粒剤, 嵐プリンスアドマイヤー箱粒剤, キラップフロアブル, ダントツ箱粒剤 08, M-2026 粒剤
	ニカメイチュウ	AF-0203 粉剤 DL, BCM-062 粒剤, MN-06 粒剤, ハスラー H 粉剤 DL, ビルダープリンスアドマイヤー粒剤, ビルダープリンスグレートム粒剤, ビルダープリンススタークル粒剤, ブイゲットバリアード粒剤, ブイゲットプリンスアドマイヤー粒剤, プリンスオリゼメート嵐 5 粒剤, ワイドナーエース粉剤 DL, MTI-6501 箱粒剤, MTI-6502 箱粒剤		イネミズゾウムシ	BCM-062 粒剤, BCM-071 粒剤, BCM-072 粒剤, SYJ-198 箱粒剤, 嵐スタークル箱粒剤, ダントツ箱粒剤 08, プリンスオリゼメート嵐 5 粒剤, ブイゲットプリンスリンバー L 粒剤, M-2026 粒剤
	コブノメイガ	AF-0202 粉剤 DL, BCM-062 粒剤, BCM-071 粒剤, アブロードパダンモンカット粒剤, ビルダープリンススタークル粒剤, ブイゲットプリンスアドマイヤー粒剤, プリンスオリゼメート嵐 5 粒剤, ブイゲットプリンスリンバー L 粒剤, MTI-6501 箱粒剤, MTI-6502 箱粒剤, MBS-1013 粒剤		イネヒメハモグリバエ	BCM-061 粒剤, BCM-062 粒剤, ダントツ粒剤
	イネツトムシ	BCM-062 粒剤, ハスラー H 粉剤 DL, ワイドナーエース粉剤 DL, ブイゲットプリンスリンバー L 粒剤		イネシingleセンチュウ	プリンス粒剤, シードラック水和剤
			小麦	アブラムシ類	ダントツ水溶剤, バイスロイド乳剤

平成 19 年度は稲・麦用に 73 剤, 延べ 514 件の試験が受託された。新規殺虫成分で初めて実用性ありの判定を受けた化合物はなかったが, 銀を有効成分としてもいもち病などに既登録のシードラック水和剤は殺虫剤としてシingleセンチュウに対して初めて実用性ありとなった。これまであまり登録が進まなかったフタオビコヤガに, 7 剤が実用性ありの判定を受けた。

表-11 平成 19 年度総合判定で実用性ありと判断された薬剤 (虫害防除: 野菜・花き)

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
いも類	ハスモンヨトウ	サブリナフロアブル	だいず	カメムシ類	MR.ジョーカー EW, 兼商バイスロイド EW, アミスタートレボン SE
ばれいしょ	ネキリムシ類	ネキリトン K		マメシクイガ	BASF ペイオフ ME 液剤, マブリック EW
	ハスモンヨトウ	フェニックス顆粒水和剤		ネキリムシ類	ダイアジノン粒剤 5
かんしょ	ナカジロシタバ	マトリックフロアブル		フタスジヒメハムシ	スタークルトレボン粉剤 DL, トレボンスター粉剤 DL
	ハスモンヨトウ	BAI-043 乳剤	あずき	アブラムシ類	サイハロン乳剤, ジェイエース水溶剤, マブリック EW, モスピラン水溶剤, ランネート 45DF
	ネコブセンチュウ	F6502 粒剤		ノメイガ類	コテツフロアブル, モスピラン SL 液剤, マブリック EW
さといも	ハスモンヨトウ	フェニックス顆粒水和剤		アズキノメイガ	BASF ペイオフ ME 液剤
	ハダニ類	コロマイト乳剤			
やまのいも	ナガイモコガ	コテツフロアブル, マブリック EW			
	ネキリムシ類	ネキリトン K			
だいず	アブラムシ類	モスピラン粒剤			

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
あずき	ヨトウムシ	オルトラン水和剤	トマト	ハスモンヨトウ	アクセルフロアブル
	ハダニ類	ダニサラバフロアブル		オオタバコガ	アクセルフロアブル
	ナミハダニ	BAI-043 乳剤		ハモグリバエ類	AKD-1162 乳剤, アファームエクスセラ顆粒水和剤, S-1947SC
えんどう	アブラムシ類	ランネート 45DF		トマトハモグリバエ	IKI-0012 乳剤
	ハスモンヨトウ	ランネート 45DF	ネコブセンチュウ		TMZ-9911 液剤
あわ	アワノメイガ	サブリナフロアブル	ピーマン	アブラムシ類	NI-31 粒剤, アドマイヤー顆粒水和剤, アドマイヤーフロアブル, バリアード顆粒水和剤
ひえ	アワノメイガ	サブリナフロアブル		コナジラミ類	アブロードエースフロアブル
とうもろこし	アブラムシ類	マブリック EW		タバココナジラミ類	コルト顆粒水和剤
	オオタバコガ	プリンスフロアブル		ハスモンヨトウ	カウンター乳剤
そば	ハスモンヨトウ	サブリナフロアブル		ハダニ類	カネマイトフロアブル, ダニサラバフロアブル, コテツフロアブル
てんさい	ヨトウムシ	BAI-043 乳剤, S-1812 乳剤 50, バイスロイド乳剤		アザミウマ類	MTI-446 水溶剤 (顆粒)
	カメノコハムシ	バイスロイド乳剤	きゅうり	アブラムシ類	NI-31 粒剤, バリアード顆粒水和剤
	アシグロハモグリバエ	BAI-043 乳剤, S-1812 乳剤 50, カウンター乳剤		コナジラミ類	NI-31 粒剤, クリアオール水和剤, チェス顆粒水和剤
	テンサイモグリハナバエ	アドマイヤー顆粒水和剤, ジェイエース水溶剤		ミナミキイロアザミウマ	アドマイヤーフロアブル, アファームエクスセラ顆粒水和剤
こんにゃく	アブラムシ類	ダントツ水溶剤		ウリノメイガ	ジェイエース水溶剤
	カンシャシクイハマキ	プリンスベイト		ネコブセンチュウ	F6502 粒剤
さとうきび	アオドウガネ	プリンスベイト	メロン	アブラムシ類	アドマイヤー顆粒水和剤, アドマイヤーフロアブル
	ハリガネムシ類	ラービンベイト 2		コナジラミ類	アブロードエースフロアブル
野菜類	コナジラミ類	エコピタ液剤		ウリノメイガ	アファームエクスセラ顆粒水和剤
	コナガ	サブリナフロアブル		ハダニ類	ポリオキシ AL 水溶剤
なす	アブラムシ類	NI-31 粒剤, アドマイヤー顆粒水和剤, バリアード顆粒水和剤		ネコブセンチュウ	TMZ-9911 液剤
	コナジラミ類	オレート液剤, モスピラン水溶剤	すいか	コナジラミ類	アブロードエースフロアブル, モスピラン水溶剤
	アザミウマ類	S-1947SC, MTI-446 水溶剤 (顆粒), モスピラン水溶剤		ハダニ類	ポリオキシ AL 水溶剤
	ハダニ類	RM1963K 乳剤, オサダンフロアブル, ポリオキシ AL 水溶剤	かぼちゃ	アブラムシ類	ダントツ粒剤
	チャノホコリダニ	アニキ乳剤, コロマイト乳剤		しろうり	コナジラミ類
	ネコブセンチュウ	ネマキック粒剤	だいこん	コナガ	NK-0503 水和剤, アファームエクスセラ顆粒水和剤
トマト	アブラムシ類	NI-31 粒剤, アドマイヤー顆粒水和剤, アドマイヤーフロアブル, バリアード顆粒水和剤		ハイマダラノメイガ	ファルコンフロアブル
	コナジラミ類	AKD-1162 乳剤, AKD-1162 乳剤, IKR-001 乳剤, モスピラン粒剤			

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名	
だいこん	アオムシ	AKD-1161 粉剤 DL, アファームエクセラ顆粒水和剤, オルトラン粒剤, ファルコンフロアブル	カリフラワー	アブラムシ類	ダントツ水溶剤	
	ネキリムシ類	ダイアジノン粒剤 10, ダイアジノン粒剤 5		コナガ	フェニックス顆粒水和剤	
	キスジノミハムシ	オンダイアエース粒剤		ハスモンヨトウ	カウンター乳剤	
	ナメクジ類	ラービンベイト 2	ブロッコリー	アブラムシ類	アドマイヤー 1 粒剤	
	ネグサレセンチュウ	F6502 粒剤		コナガ	アファームエクセラ顆粒水和剤, SYJ-170 顆粒水和剤, MTI-446 水溶剤 (顆粒)	
				ハイマダラノメイガ	カウンター乳剤	
はくさい	コナガ	AKD-1161 粉剤 DL, DAI-0601フロアブル, NK-0503 水和剤, アファームエクセラ顆粒水和剤, TB0301 顆粒水和剤		アオムシ	アファームエクセラ顆粒水和剤	
	アオムシ	AKD-1161 粉剤 DL		ヨトウムシ	フェニックス顆粒水和剤	
	ネキリムシ類	ダイアジノン粒剤 5		ハスモンヨトウ	アファームエクセラ顆粒水和剤	
	タマナギンウワバ	プリンスフロアブル	チンゲンサイ	コナガ	マッチ乳剤	
	ハスモンヨトウ	アファームエクセラ顆粒水和剤		アオムシ	マッチ乳剤	
	オオタバコガ	アファームエクセラ顆粒水和剤, フェニックス顆粒水和剤		こまつな	アブラムシ類	オルトラン粒剤
	キャベツ	アブラムシ類	ハチハチフロアブル, モスピラン SL 液剤	こまつな	コナガ	マッチ乳剤
		ネギアザミウマ	ダントツ粒剤		アオムシ	マッチ乳剤
コナガ		AKD-1161 粉剤 DL, CJI601 顆粒水和剤, IKI-0012 乳剤, NK-0503 水和剤, S-1947SC, TB0301 顆粒水和剤	のざわな		アブラムシ類	オルトラン粒剤
ハイマダラノメイガ		MTI-446 水溶剤 (顆粒), S-1947SC, アファームエクセラ顆粒水和剤, ジェイエース粒剤, プリンス粒剤		コナガ	マッチ乳剤	
アオムシ		AKD-1161 粉剤 DL, CJI601 顆粒水和剤, NNI-0501 フロアブル, アファームエクセラ顆粒水和剤		アオムシ	マッチ乳剤	
カブラヤガ		NNI-0501 フロアブル	みずな	ハスモンヨトウ	アニキ乳剤	
ネキリムシ類		ダイアジノン粒剤 5		アブラムシ類	ジェイエース粒剤	
タマナギンウワバ		アファームエクセラ顆粒水和剤		キスジノミハムシ成虫	アニキ乳剤	
ウワバ類		アニキ乳剤, フェニックス顆粒水和剤	いちご	アブラムシ類	バリアード顆粒水和剤	
ハスモンヨトウ		NNI-0501 フロアブル		オオタバコガ	フェニックス顆粒水和剤	
オオタバコガ		アクセルフロアブル		チビクロバネキノコバエ	ベストガード粒剤	
キスジノミハムシ		プリンスフロアブル		ハダニ類	RM1963K 乳剤	
				シクラメンホコリダニ	コテツフロアブル	
			ねぎ	ネギアザミウマ	アドマイヤー 1 粒剤, アニキ乳剤, アファームエクセラ顆粒水和剤, ウララ粒剤, オンコルスタークル粒剤, オンコル粒剤 5	
				ネキリムシ類	ダイアジノン粒剤 10, ダイアジノン粒剤 5, フォース粒剤	
				シロイチモジヨトウ	アファームエクセラ顆粒水和剤	
				ネギハモグリバエ	BAI-043 乳剤, アファームエクセラ顆粒水和剤, オンコルスタークル粒剤	
				たまねぎ	アザミウマ類	ゲットアウト WDG

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
たまねぎ	ネギアザミウマ	オンコル顆粒水和剤, バイスロイド乳剤	ほうれんそう	ハスモンヨトウ	マトリックフロアブル
にら	ネギアザミウマ	MTI-446 水溶剤 (顆粒)		ホウレンソウケナガコナダニ	BAI-043 乳剤
にんにく	アブラムシ類	ジェイエース水溶剤		ネコブセンチュウ	ネマトリンエース粒剤
	ネギコガ	カウンター乳剤	オクラ	ネコブセンチュウ	ネマキック粒剤
アスパラガス	ネギアザミウマ	ハチハチフロアブル	しそ	ハスモンヨトウ	カウンター乳剤
	ヨトウムシ	コテツフロアブル	しょうが	アワノメイガ	トルネードエース DF
	オオタバコガ	BAI-043 乳剤, カウンター乳剤, フェニックス顆粒水和剤	れんこん	アブラムシ類	アドマイヤーフロアブル
レタス	アブラムシ類	ウララ DF, ハチハチフロアブル, ハチハチ乳剤	花き類	ハダニ類	ポリオキシシン AL 水溶剤
	ヨトウムシ	DAI-0601 フロアブル		オカダンゴムシ	ラービンベイト 2
	ハモグリバエ類	スピノエース顆粒水和剤		ナメクジ類	ラービンベイト 2
	ナモグリバエ	S-1947SC, アファームエクセラ顆粒水和剤, ハチハチフロアブル	きく	カスミカメムシ類	ダントツ水溶剤
	ナメクジ類	ラービンベイト 2		マメハモグリバエ	ジェイエース粒剤
	ネグサレセンチュウ	バスアミド/ガスタード微粒剤, ネマトリンエース粒剤		ナミハダニ	コロマイト乳剤, スターマイトフロアブル
しゅんぎく	アブラムシ類	アクタラ顆粒水溶剤, ダントツ粒剤, アディオン乳剤	ばら	ナミハダニ	SYJ-159 乳剤
	ハモグリバエ類	MTI-446 粒剤 1	カーネーション	ナミハダニ	SYJ-159 乳剤
	ナモグリバエ	アクタラ顆粒水溶剤	アスター	ミカンキイロアザミウマ	コテツフロアブル
ふき	ハスモンヨトウ	カウンター乳剤	ひまわり	コナジラミ類	MTI-446 水溶剤 (顆粒)
にんじん	アブラムシ類	MTI-446 水溶剤 (顆粒)	バーベナ	コナジラミ類	MTI-446 粒剤 1
	コガネムシ類	アクタラ粒剤 5	樹木類	イラガ類	トアロー水和剤 CT
セルリー	アブラムシ類	オルトラン水和剤, ダントツ水溶剤	さくら	モンクロシャチホコ	MTI-446 水溶剤 (顆粒)
	ヨトウムシ	オルトラン水和剤	つばき	チャドクガ	MTI-446 水溶剤 (顆粒)
ほうれんそう	アブラムシ類	アドマイヤー 1 粒剤	しきみ	サビダニ類	アタックオイル
			くろまつ	マツカレハ	オルトランカプセル
			あかまつ	マツカレハ	オルトランカプセル
			ゆりのき	アブラムシ類	オルトランカプセル

平成 19 年度の依頼は 121 剤, 延べ 1,586 件の試験が実施された。本年初めて実用性ありの判定を受けた新規化合物は IKR-001 乳剤 (グリセリン酢酸脂肪酸エステル: 石原バイオサイエンス・石原産業), RM1963K 乳剤 (新規化合物: 大塚化学), S-1947SC (スピネトラム: 住友化学) があげられる。化学合成農薬も種類が増えているが, アザディラクチンや食品添加物を有効成分とする薬剤も増加しておりバラエティに富んできている。マイナー作物ではないものの登録がなかなか進まなかった, やまのいものナガイモコガ・ネキリムシ, あずきのアブラムシ類・ハダニ類・ノメイガ類・ヨトウムシ, こまつな・チンゲンサイ・にんじん・ほうれんそう・セルリー・しゅんぎく・れんこん・しょうが等の各種害虫, また害虫としてあまり適用のないものとして, てんさいのアシクロハモグリバエ・いちごのシクラメンホコリダニ・チビクロバネキノコバエ等が実用性ありとなった。

表-12 平成 19 年度総合判定で実用性ありと判断された薬剤 (虫害防除: 果樹・茶・芝草)

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
果樹類	ケムシ類	エスマルク DF	かき	フジコナカイガラムシ	オルトラン水和剤
なし	アブラムシ類	アドマイヤー顆粒水和剤, ウララ DF, チェス顆粒水和剤, テルスターフロアブル, バリアード顆粒水和剤		カメムシ類	スプラサイド水和剤
	クワコナカイガラムシ	ダーズバン DF		カキノヘタムシガ	コテツフロアブル
	ケムシ類	オリオン水和剤 40	いちじく	カンザワハダニ	コテツフロアブル
	ハマキムシ類	テルスターフロアブル		ハダニ類	コロマイト乳剤, ダニサラバフロアブル
	シンクイムシ類	MTI-446 水溶剤 (顆粒)	りんご	アブラムシ類	アドマイヤー顆粒水和剤, ウララ DF, ハチハチフロアブル
	ナシヒメシンクイ	ナシヒメコン		リンゴワタムシ	アクタラ顆粒水溶剤
	ニセナシサビダニ	アニキフロアブル, ダニゲッターフロアブル		クワコナカイガラムシ	コルト顆粒水和剤, TI-435 水溶剤 FT
かりん	シンクイムシ類	ダーズバン DF		カメムシ類	TI-435 水溶剤 FT
もも	アブラムシ類	MTI-446 水溶剤 (顆粒), ウララ DF		ハマキムシ類	アニキフロアブル
	ウメシロカイガラムシ	コルト顆粒水和剤		モモシンクイガ	S-1319WDG
	リンゴコカクモンハマキ	アニキフロアブル, KI-82		ヨモギエダシャク	兼商バイスロイド EW
すもも	アブラムシ類	ハチハチフロアブル		モモシンクイガ	コンフューザー AA
	カイガラムシ類	スプレーオイル		リンゴモンハマキ	コンフューザー AA
	ウメシロカイガラムシ	ダーズバン DF		リンゴコカクモンハマキ	コンフューザー AA
	カメムシ類	ダントツ水溶剤		リンゴサビダニ	リーズン顆粒水和剤
	シンクイムシ類	フェニックス顆粒水和剤	おうとう	ウメシロカイガラムシ	バリアード顆粒水和剤
	オウトウハダニ	コテツフロアブル		チャノキイロアザミウマ	モスビラン水溶剤
	カンザワハダニ	コテツフロアブル		コスカシバ	バイオセーフ
	ハダニ類	ダニサラバフロアブル		オウトウショウジョウバエ	テルスターフロアブル, S-1947WDG
あんず	アブラムシ類	アドマイヤーフロアブル, コルト顆粒水和剤	かんきつ	コナカイガラムシ類	ハチハチフロアブル, ダーズバン DF, TI-435 水溶剤 FT
	アメリカシロヒトリ	DKI-0002 フロアブル		アカマルカイガラムシ	TI-435 水溶剤 FT
	ハダニ類	ダニゲッターフロアブル		ミカンキジラミ	アドマイヤーフロアブル
うめ	アブラムシ類	ウララ DF		チャノミドリヒメヨコバイ	MTI-446 水溶剤 (顆粒)
	ケシキスイ類	ダントツ水溶剤, モスビラン水溶剤, アディオン水和剤		カメムシ類	スプラサイド水和剤, TI-435 水溶剤 FT
	ハダニ類	コロマイト乳剤, ダニトロンフロアブル		チャノキイロアザミウマ	S-1947WDG, アニキ乳剤, ウララ 50DF
ぶどう	ハダニ類	スターマイトフロアブル			

作物名	病虫害名	薬剤名	作物名	病虫害名	薬剤名
かんきつ	アザミウマ類	TI-435 水溶剤 FT	茶	ツマグロアオカスミ カメ	アクテリック乳剤, キラップバリアードフロアブル, モスピラン SL 液剤
	ミカンハモグリガ	S-1947WDG		チャノコカクモンハ マキ	DAI-0602 顆粒水和剤, SYJ-159 乳剤
	アゲハ類	マッチ乳剤, TI-435 水溶剤 FT		チャハマキ	DAI-0602 顆粒水和剤
	チャノホコリダニ	SYJ-159 乳剤, バリユースターフロアブル, スターマイトフロアブル, ダニカット乳剤 20		チャノホソガ	S-1947SC, キラップバリアードフロアブル
	サビダニ類	アタックオイル, スプレーオイル, マジスターフロアブル		チャハマキ	ハマキコン N-06
	ミカンサビダニ	SYJ-159 乳剤, アニキ乳剤, モレスタン水和剤		マダラカサハラハム シ	ハチハチフロアブル, ダントツ水溶剤
	チャコウラナメクジ	IC ボルドー 66D 水和剤		チャノホコリダニ	SYJ-159 乳剤
かんきつ (苗圃)	ミカンハモグリガ	アクタラ粒剤 5		チャノナガサビダニ	ダニゲッターフロアブル
びわ	カメムシ類	MTI-446 水溶剤 (顆粒)	芝	シバツトガ	NNI-0001 フロアブル
キウイフ ルーツ	キウイヒメヨコバイ	オリオン水和剤 40, コテツフロアブル, ダントツ水溶剤, モスピラン水溶剤, ロディー乳剤		タマナヤガ	NNI-0001 フロアブル
茶	コミカンアブラムシ	キラップバリアードフロアブル		スジキリヨトウ	NNI-0001 フロアブル
	ミカントゲコナジラ ミ	トモノール S, ラビサンスプレー		コガネムシ類幼虫	タフバリアフロアブル
				シバオサゾウムシ幼 虫	SYJ-208SC

平成 19 年度の落葉果樹分野では 43 薬剤が依頼され、延べ 224 件の試験が受託された。寒冷地果樹分野では 31 剤が依頼、延べ 105 件が受託、常緑果樹分野では 38 薬剤が依頼、延べ 144 件が受託、茶分野では 25 薬剤が依頼、延べ 110 件が受託、芝草分野では 6 剤が依頼、延べ 23 件が受託された。S-1947WDG/SC がおうとう・かんきつ・茶の各種害虫に初めて実用性ありの判定を受けた。

表-13 平成 19 年度総合判定で実用性ありと判断された薬剤 (虫害防除：生物農薬)

作物名	病虫害名	薬剤名	有効成分	作物名	病虫害名	薬剤名	有効成分
だいず	ハスモンヨトウ	NK-103 水和剤	核多核体ウイルス	いちご	ヒラズハナアザ ミウマ	CAS-012	オオメカメムシ
野菜類	アザミウマ類	ALE-0651	スワルスキーカブリダニ	アスパラ ガス	オオタバコガ	NR-17 液剤	核多核体ウイルス
ピーマン	タバココナジラ ミ類	ALE-0651	スワルスキーカブリダニ	しそ	ハスモンヨトウ	NK-103 水和剤	核多核体ウイルス
				花き類	ハダニ類	スパイカル	ミヤコカブリダニ

平成 19 年度の生物農薬連絡試験では、12 薬剤が依頼され、延べ 77 件の試験が受託された。本年初めて実用性ありの判定を受けた製剤は、ALE-0651 (スワルスキーカブリダニ) と CAS-012 (オオメカメムシ) の 2 剤だった。

表-14 平成 19 年度総合判定で実用性ありと判断された薬剤 (虫害防除：家庭園芸)

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
なす	アブラムシ類	GL-39 スプレー	パンジー	アブラムシ類	GL-39 スプレー
	コナジラミ類	GL-39 スプレー, GL-38 スプレー	マリーゴールド	ハスモンヨトウ	GL-39 スプレー
	ハモグリバエ類	SYJ-179 スプレー	はばたん	アオムシ	ELCB-51AL 剤
	ハダニ類	GL-39 スプレー	ポトス	ハダニ類	GL-39 スプレー
トマト	アブラムシ類	GL-39 スプレー, SYJ-177 顆粒水溶剤	つばき	チャドクガ	ELCB-51AL 剤, GL-39 スプレー
きゅうり	アブラムシ類	GL-39 スプレー		ツノロウムシ	GL-38 スプレー
	コナジラミ類	GL-39 スプレー, SYJ-177 顆粒水溶剤	さざんか	コミカンアブラムシ	花のもり 100
いちご	アブラムシ類	SYJ-181 スプレー		チャドクガ	花木用ハンドスプレー
きく	アブラムシ類	GL-39 スプレー	つつじ	ツツジゲンバイ	GL-39 スプレー
ばら	アブラムシ類	GL-39 スプレー	さくら	モンクロシャチホコ	花木用ハンドスプレー
	イバラヒゲナガアブラムシ	ELCB-51AL 剤		ケムシ類	花ベジタ 100
	チュウレンジハバチ	ELCB-51AL 剤, アタックワン AL 液剤, GL-39 スプレー	もくせい	ハダニ類	花のもり 100
	コガネムシ類幼虫	ベニカ D スプレー	いぬまき	マキシンハアブラムシ	花のもり 100
	ハダニ類	GL-39 スプレー	さんごじゅ	アブラムシ類	花のもり 100
			まさき	アオバハゴロモ	ベニカ D スプレー
カーネーション	ハダニ類	GL-38 スプレー	かき	カメムシ類	ベジタメート AL
			芝	スジキリヨトウ	ベニカ D スプレー

平成 19 年度の家庭園芸分野では 13 薬剤が依頼され、延べ 118 件の試験が受託された。

表-15 平成 19 年度総合判定で実用性ありと判断された薬剤 (タバココナジラミ類防除特別連絡)

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
なす	コナジラミ類	コロマイト乳剤, サンクリスタル乳剤	ピーマン	コナジラミ類	MTI-446 水溶剤 (顆粒)
				タバココナジラミ類	アフーム乳剤
トマト	コナジラミ類	アドマイヤーフロアブル, オンコルスタークル粒剤	きゅうり	コナジラミ類	サンクリスタル乳剤
	タバココナジラミ類	ダニトロンフロアブル, ピラニカ EW	メロン	タバココナジラミ類	アフーム乳剤
			すいか	コナジラミ類	クリアオール水和剤, ベストガード粒剤

昨年度に引き続き緊急対策事業として実施されたタバココナジラミ類防除特別連絡試験では、17 薬剤が依頼され、6 作物に延べ 62 件の試験が受託された。